



# NPO法人 日本ピーススマイル協会

～Japan Peace Smile Association～

## 団体のご紹介



# 目次

---

1. 日本ピーススマイル協会について
2. 自殺・うつ問題について
3. 私たちの活動について

The background features a soft watercolor wash in shades of pink, purple, and light orange. A prominent, multi-colored heart shape is drawn in the center-right area, with colors transitioning from blue to green to red. The overall aesthetic is gentle and positive.

# 1. 日本ピーススマイル協会について

---



# 日本ピーススマイル協会とは？

---

## <団体概要>

- 名称 特定非営利活動法人 日本ピーススマイル協会  
(略称JPSA)
- 英語表記 Japan Peace Smile Association
- 設立 2008年9月（現事業は2017年6月より）
- 代表理事 越智 創
- 所在地 東京都新宿区大久保3-11-1-723

## <沿革>

2008年 日本での自殺防止に取り組む委員会JCSS設立

2011年 東日本大震災チャリティイベント開催

2018年 日本ピーススマイル協会、通称JPSA

(Japan Peace Smile Association) に改称し、NPO法人化

2019年 関東の中高大学で出前授業実施。1500人以上にワークショップ提供  
昭和大学、新宿区などにて講演。



# 私たちの目指す社会・使命

<目指す社会>

✓「誰もが人間らしく**笑顔**で生きる平和社会」

<使命>

✓青少年の**自殺**とうつを「予防」し、なくすこと



The background is a soft watercolor wash in shades of pink, purple, and light orange. A thin, multi-colored line (blue, green, red, purple) forms a heart shape in the center. A horizontal black line is positioned below the text.

## 2. 自殺・うつ問題について



# 青少年の「自殺問題」の現状

✓15～34歳の若い世代で**死因の第1位が自殺**となっているのは、**先進国(G7)では日本のみ。**

✓死亡率も他の国に比べて高い状況。

**第1-8表 先進国の年齢階級別死亡数及び死亡率（15～34歳、死因の上位3位）**

	日本 2015				フランス 2014				ドイツ 2015				カナダ 2013			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	自	殺	4,132	16.3	事	故	1,985	12.9	事	故	1,724	9.0	事	故	1,868	19.6
第2位	事	故	1,633	6.4	自	殺	1,224	7.9	自	殺	1,426	7.5	自	殺	1,012	10.6
第3位	悪	性	1,300	5.1	R00-R99※		966	6.3	悪	性	1,033	5.4	悪	性	513	5.4

	アメリカ 2015				イギリス 2015				イタリア 2015				韓国（参考） 2015			
	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率	死	因	死亡数	死亡率
第1位	事	故	34,005	38.7	事	故	2,596	15.3	事	故	1,342	10.5	自	殺	2,237	16.3
第2位	自	殺	12,438	14.1	自	殺	1,255	7.4	悪	性	794	6.2	事	故	1,152	8.4
第3位	殺	人	9,593	10.9	悪	性	1,060	6.3	自	殺	530	4.1	悪	性	835	6.1

※ICD-10（疾病及び関連保健問題の国際統計分類の第10回修正版）の第18章「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」に該当するもの

注)「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡数をいう。

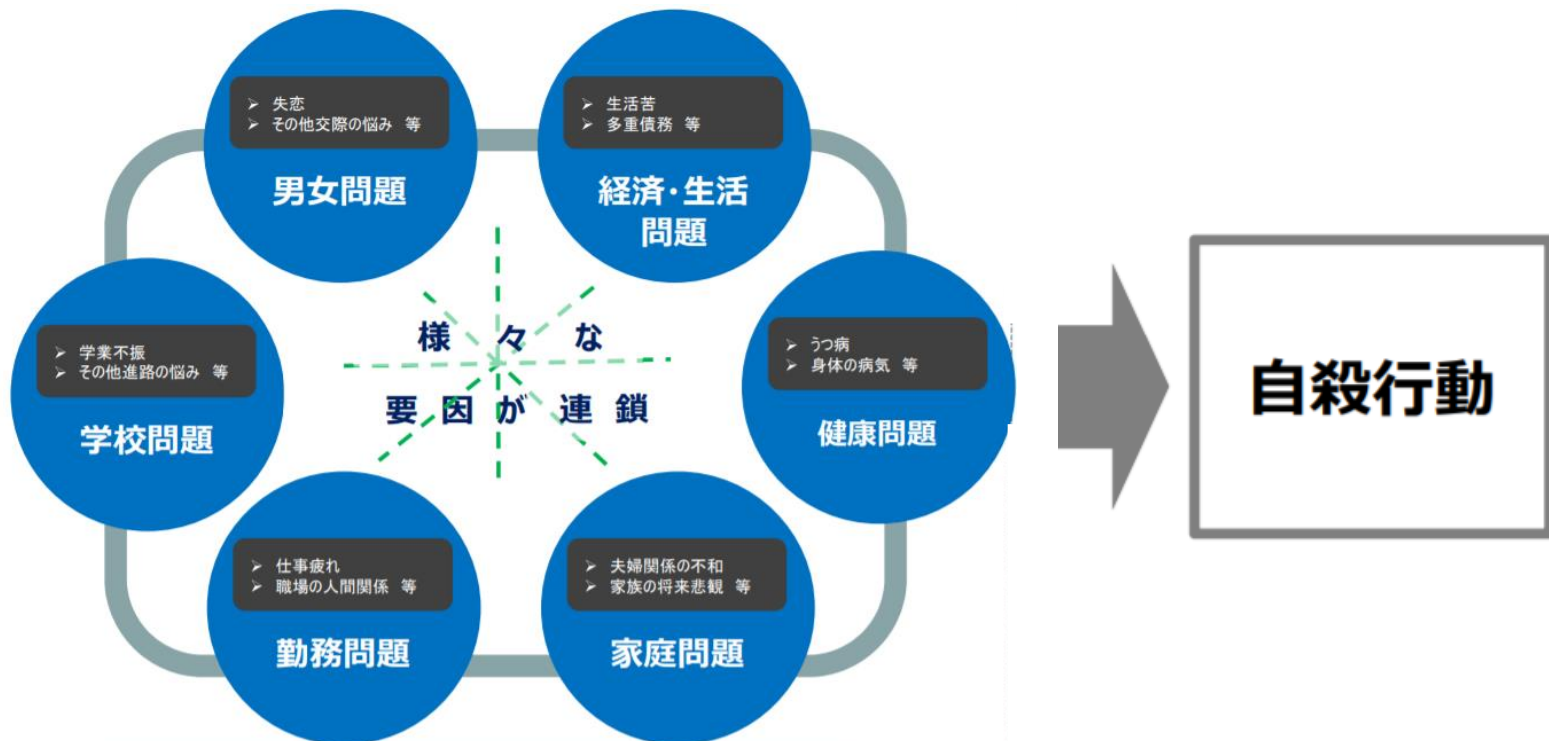
資料：世界保健機関資料（2018年9月）より厚生労働省自殺対策推進室作成



# 青少年における「自殺」の要因

✓自殺の発端となる要因は、学校問題、家庭問題、健康問題など**多様**。

✓これらの要因が**連鎖**して自殺行動に至る。



(出典) 警察庁自殺統計原票より厚生労働省作成



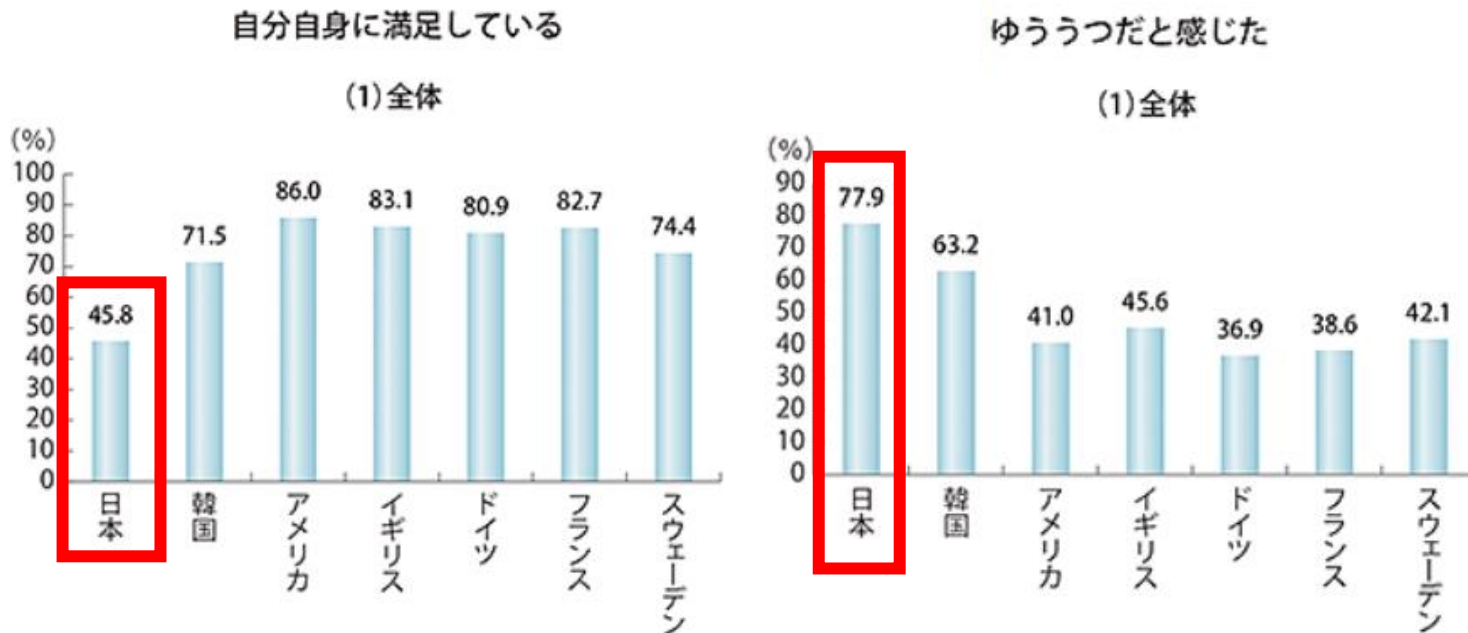


# 青少年の自己認識の現状

✓内閣府の調査によると、日本の若者は諸外国と比べ**自己肯定感が低く、心の状態も不安定**である

「自分自身に満足している」と答えた割合⇒**最下位**

「ゆううつだと感じた」と答えた割合⇒**最上位**



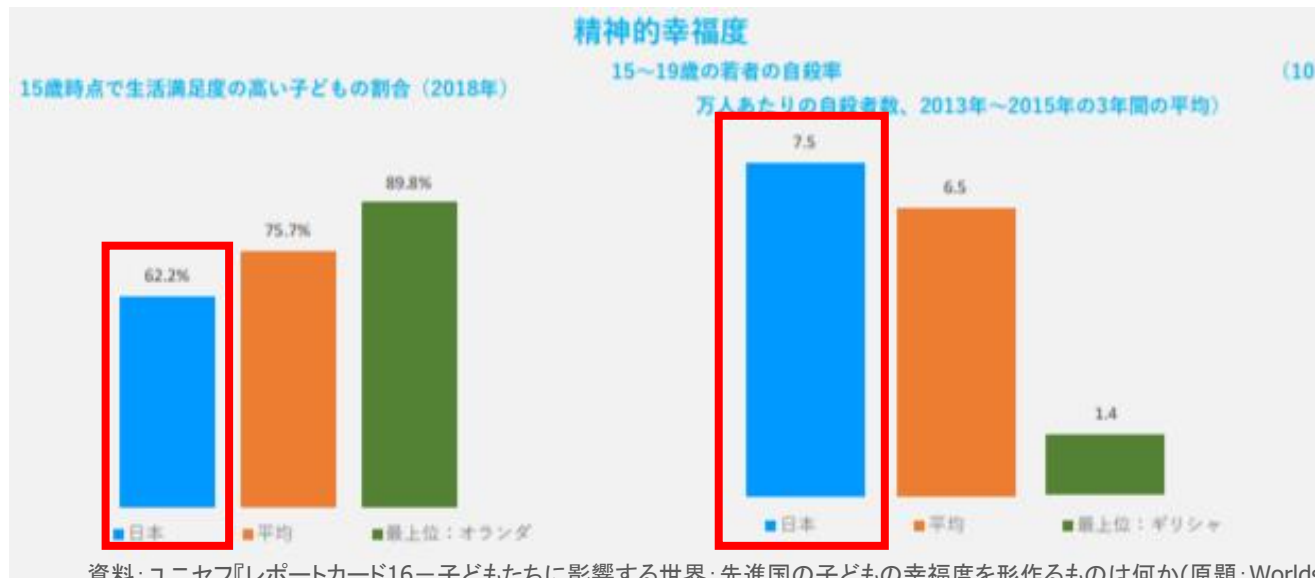
(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことがらに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「ゆううつだと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。



# 青少年の幸福度の現状

- ✓ユニセフ「子どもの幸福度」調査によると日本の子どもの**精神幸福度**は38カ国中37位で**最下位から2番目**
- ✓**自殺率の高さ**や**生活満足度の低さ**が要因となっている



資料：ユニセフ『レポートカード16—子どもたちに影響する世界：先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か(原題: Worlds of Influence: Understanding what shapes child well-being in rich countries)』



# 自殺の背景にある「うつ」の問題

自殺に関する俗説

俗説：

~~自殺を口にする人は実際には  
自殺するつもりはない。~~

事実：

自殺を口にする人は  
おそらく援助や支援を求めている。  
自殺を考えている人の多くが  
不安、抑うつ、絶望を経験しており、  
自殺以外の選択肢はないと感じている。

✓WHO（世界保健機関）によると、自殺者のうち**精神疾患のある人は90%**に及んでいた。

✓中でも、**うつ病は自殺関連行動と最も関連のある精神障害**とされている。



自殺問題を根本的に解決するためには、**うつを予防することが重要**。

(参照) WHO『自殺を予防する 世界の優先課題』



# 自殺・うつに至る当団体の現状考察

✓自殺・うつ予防に対し、私たちは以下のように考えています。

「人は考えた通りに行動する。問題行動を起こす根本の原因である、**心と考え方を変える**ことで、自殺やうつ、青少年期にみられる諸問題（いじめ・引きこもり・性問題など）も解決できる。」

「心が変われば行動が変わる」

—心理学者・哲学者 ウィリアム・ジェームズ—

The background is a soft watercolor wash in shades of pink, purple, and light orange. A heart shape is drawn with a multi-colored line (blue, green, red, purple) in the center-right area. A thin black horizontal line is positioned below the text.

### 3. 私たちの活動について



# 自殺・うつ予防に対する私たちの活動

✓自殺・うつを予防し、なくすために「**人としての根本的価値を認める = 人を生かす**」教育を提供。

自己肯定感・幸福度・人間性を高める  
「心の教育プログラム」

《**ピーススマイル・ワークショップ**》



## ＜学校＞

- ・生徒向け：生きる力、人権意識を醸成する出前授業
- ・教員向け：メンタルヘルス予防研修



## ＜ユース＞

- ・生きる力、人権意識を醸成する講座



## ＜企業＞

- ・ウェルネスデザイン研修
- ・メンタルヘルス予防研修
- ・アンガーマネジメント研修
- ・心のセルフマネジメント研修



# 学校での自己肯定感を高める授業

社員間のコミュニケーション力や人間関係を改善することで、ウェルビーイングな働き方、職場を実現することで、メンタル予防になる研修講座などを行っています。

※具体的なプログラムは、文部科学省（[学校と地域で作る学びの未来](#)）や東京都・埼玉県の教育委員会サイトに掲載しております。





# 青少年対象の主催イベント

社員間のコミュニケーション力や人間関係を改善することで、ウェルビーイングな働き方、職場を実現することで、メンタル予防になる研修講座などを行っています。

※具体的なプログラムは、文部科学省（[学校と地域で作る学びの未来](#)）や東京都・埼玉県の教育委員会サイトに掲載しております。

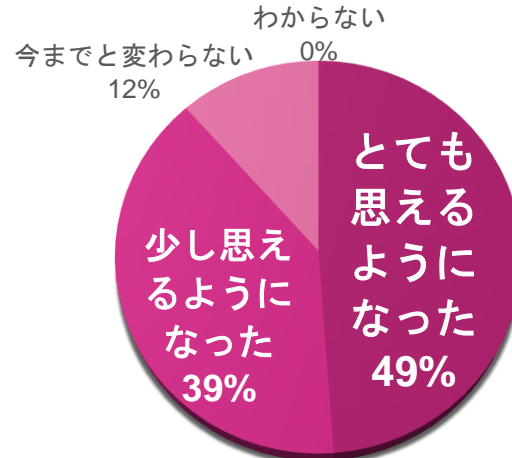






# ワークショップ実施後のアンケート結果 ～中高生～

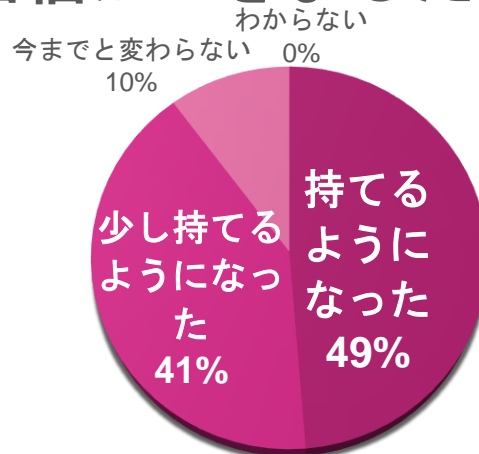
Q：自分を大切に思えるようになりましたか？



**88%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者43人  
(2020年9月現在)

Q：自分に自信がつけましたか？



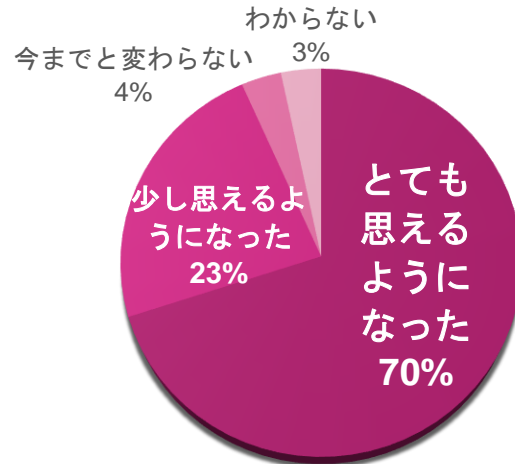
**90%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者39人  
(2020年9月現在)



# ワークショップ実施後のアンケート結果 ～大学生～

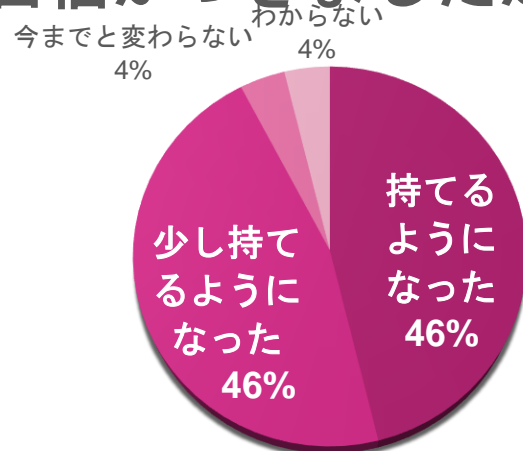
Q：自分を大切に思えるようになりましたか？



**93%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者30人  
(2020年9月現在)

Q：自分に自信がつけましたか？



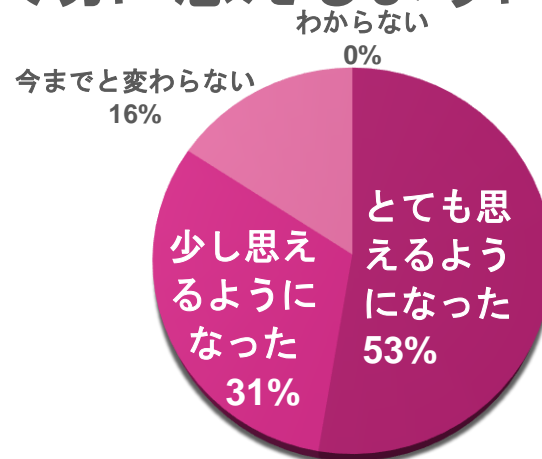
**92%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者26人  
(2020年9月現在)



# ワークショップ実施後のアンケート結果 ～社会人～

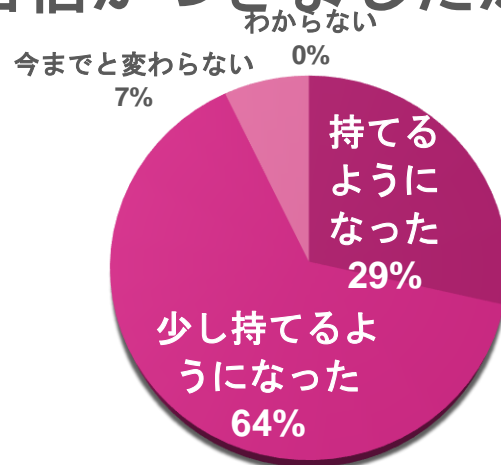
Q：自分を大切に思えるようになりましたか？



**84%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者19人  
(2020年9月現在)

Q：自分に自信がつけましたか？



**93%**の参加者  
に変化あり！

回答数：2019～2020年実施ワークショップ参加者14人  
(2020年9月現在)



## 企業への啓発活動

社員間のコミュニケーション力や人間関係を改善することで、ウェルビーイングな働き方、職場を実現することで、メンタル予防になる研修講座などを行っています。

こうした活動を通して、職場でのストレスを減らし、親が家庭に戻ってからの子どもへの感情的な接し方や虐待を防止するためです。





# 自己肯定感を高める子育て講座

社員が、自宅で子育てや介護においてストレスを抱えている場合、メンタル懸念はもとより、職場での仕事ぶり・生産性などにも大きな影響を与えます。

子育て中の社員に、愛着形成と自己肯定感を高める接し方・子育てを学んでいただくことで、子どもの将来のうつや「問題行動」を予防することができます。





# YouTubeでの自殺予防メッセージ動画

敏感な世代が悩みがちな問題を認識観の変化で生きる力を育む動画、  
[「あなたへ」](#)

また、ジョンソンエンドジョンソン日本グループの協力で制作中の  
[「あいことば」](#)

不特定多数の方へ届け、  
自殺予防と幸福度を高める  
社会づくりのために作成しています。



**視聴はこちらから →  
(YouTubeの検索から)**

ピーススマイル協会 あなたへ

検索





# SDGsとESGの実践

私たちは、SDGs（特に**3 健康と福祉**、**4 質の高い教育**、**5 ジェンダー平等の実現**、**16 平和と公正**）を実践した活動を行っております。

世界は、ESG、すなわち環境（Environment）、**社会（Social）**、ガバナンス（Governance）を評価され、2030年のSDGsに向かっていく時代。

私たちの活動を御社のブランディングやPRにご活用ください。

※「SDGs」とは国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の「持続可能な開発目標」です

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





## ご支援・協働のお願い

青少年の自殺とうつを予防するために、企業様のご支援・協働を必要としております。

- ・ 賛助会員（会員企業）、マッチングギフト寄付
- ・ 弊協会の人材育成やメンタル予防研修・講演の活用
- ・ イベントへの協賛
- ・ SDGsや心豊かな社会づくりの協働事業
- ・ 社員メンタル予防コンサルやサポート導入（月3万円～）





## 料金体系

ワークショップ+  
セミナーコース

100,000円～

参加者30人以上の場合  
150,000円～

所要時間:120分～半日・2日間研修  
:ご要望に合わせて

---

予防含むメンタル  
ケア・コンサル

月30,000円～

個別面談・カウンセリング  
含む

所要時間:週1の会議アドバイ  
スから

---

※上記料金は、当日の講師料、交通費などを全て含みます(しかも消費税込みです)。  
ただし、関東圏外の地域は出張交通費を別途いただきます。



# さいごに



**自殺とうつをなくす社会づくり、  
誰もが人間らしく笑顔で生きる平和社会を  
共に実現しましょう！**

**詳細**はこちらから➡

ピーススマイル 教育

検索



【お問い合わせ】

特定非営利活動法人日本ピーススマイル協会

連絡先：[h.ochi@p-smile.org](mailto:h.ochi@p-smile.org)

Tel：070-6995-2154